

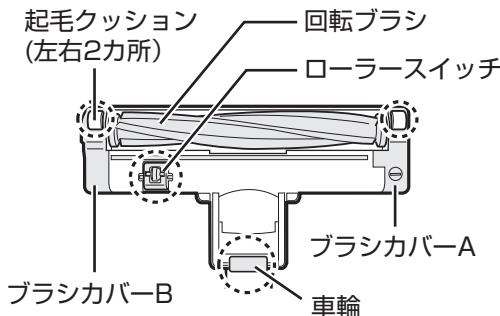
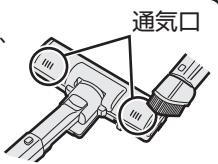
お手入れする

吸入口(回転ブラシ) お手入れの目安：吸引力が弱くなったり汚れが気になるとき(月1回程度)

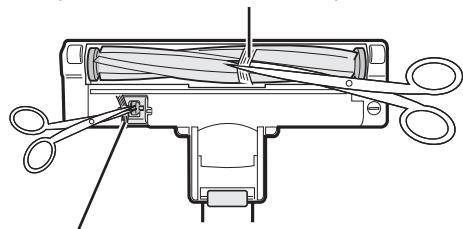
ゴミを取り除く

吸入口に付いたほこりをベンリブラシで
吸い取り、部にからみ付いた毛・糸くず
を切り取ってから、絞った布で拭く。

通気口に付いたほこりも、
ベンリブラシで
吸い取ってください。



回転ブラシの溝に沿って切り取る。
(ブラシの毛先を切らない)



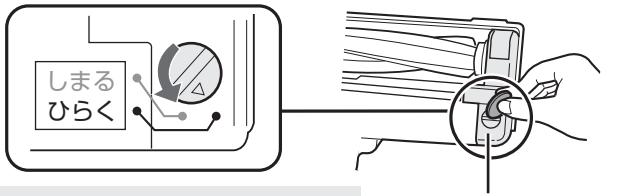
細かい部分についたゴミは先の細い
ハサミやピンセットなどで取り除く。

部が摩耗した場合は使用を中止し、
お買いあげの販売店にご相談ください。

回転ブラシを水洗いする

回転ブラシをはずす

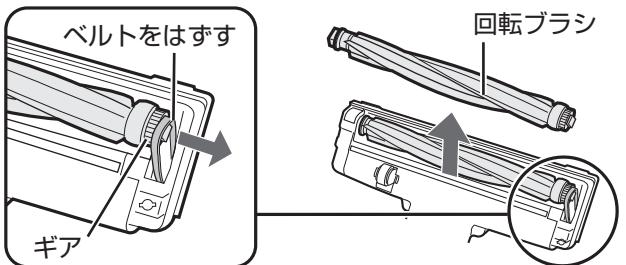
① コインなどで「ひらく」まで回して、ブラシカバーAをはずす



●爪で回したり、強く回さない。
【けがや破損の原因】

ブラシカバーA

② 回転ブラシを持ち上げながらベルトをギアから
はずして、回転ブラシをはずす



③ 回転ブラシを水洗いし、充分に乾かす

お願ひ

- 洗剤・シンナー・ベンジン類や、お湯(約40℃以上)は使わないでください。変質や変形の原因になります。
- 水洗いした後は、水気をしっかり切り、風通しのよい所で陰干しして、充分に乾かしてください。
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。
変形や故障の原因になります。

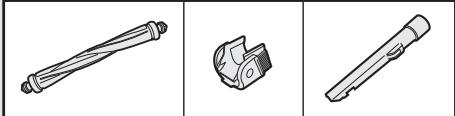
吸入口全体は水洗いできません。

吸入口内部の汚れが気になるときは、
水または薄めた中性洗剤を含ませた
布で拭き取ってください。



吸入口内部

水洗いできるもの



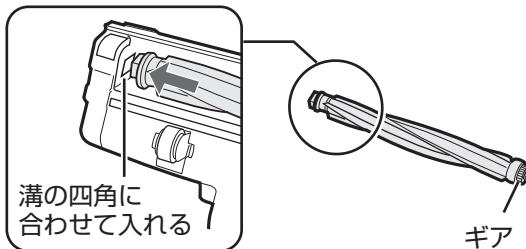
警告



お手入れ時は必ず
電源プラグを抜く
【感電・けがの原因】

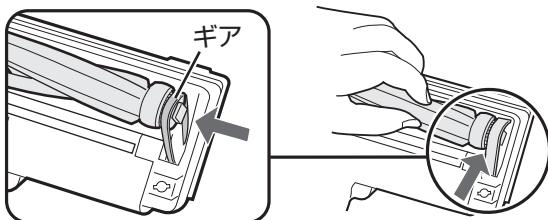
回転ブラシを取り付ける

- ① 回転ブラシのギアがないほうを溝の奥まで入れる



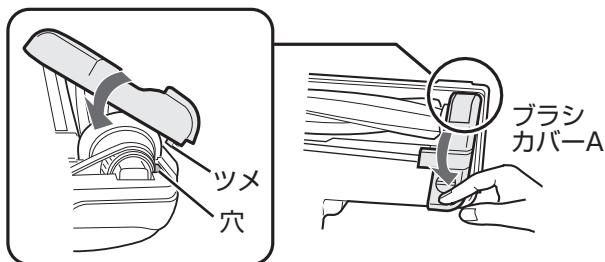
溝の四角に
合わせて入れる

- ② 回転ブラシのギアにベルトをかけ、溝に入れる

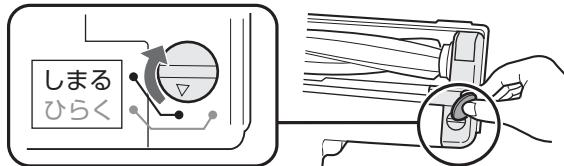


●左右を逆に入れると取り付けできません。

- ③ ブラシカバーAのツメを穴にかけて取り付ける



- ④ コインなどで「しまる」まで回す

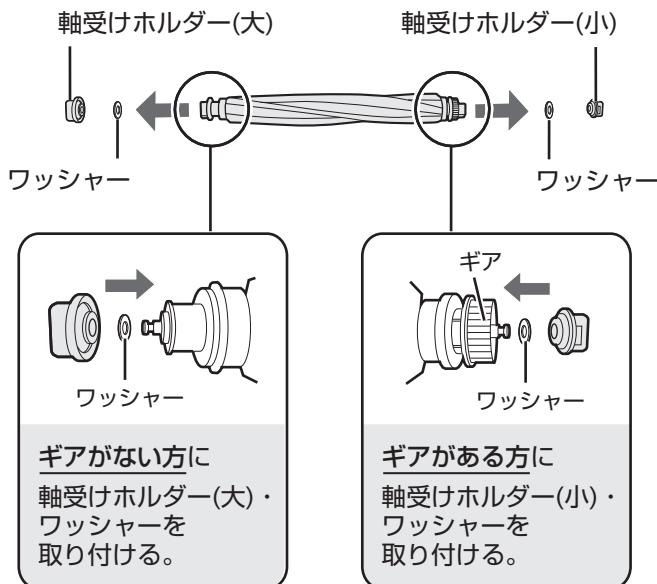


回転ブラシに毛髪などが からみ付いたときは

回転ブラシ両端(黒)の軸受けホルダー・ワッシャーを
はずして※、取り除いてください。

※平行にまっすぐはずしてください。

軸受けホルダー・ワッシャーを紛失しないよう、
ご注意ください



お願い

- お手入れ後は必ず、軸受けホルダー・
ワッシャーを取り付けてください。
- 回転ブラシが取り付けできない場合は、
軸受けホルダー・ワッシャーを正しく
取り付けているか確認してください。